

経営協議会議事録
(令和4年度第5回)

令和5年1月23日(月)
13時00分から15時00分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 相澤益男 伊藤真知子 小林裕明 鈴木道子 里村正治 西海和久
萩原なつ子 長谷川真理子
飯塚 博 出口 毅 矢作 清 花輪公雄 瀨瀬 晃 佐藤慎哉

列席者

副学長 林田光祐 大森 桂 羽鳥政男
監事 渡辺 均

欠席者

委員 吉村美栄子 根本建二

- 1 経営協議会議事録(11月28日開催)の確認
玉手学長から、本会議事録(11月28日開催)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】第4期中期計画の変更手続き等について
花輪理事から、第4期中期目標・中期計画における令和5年度からの変更について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。
・医学部定員増の背景を説明願いたい。

- 3 【協議】令和5年度施設整備方針及び令和6年度施設整備概算要求方針(案)について
瀨瀬理事から、令和5年度の施設整備及び令和6年度施設整備概算要求をするに当たり、施設整備の方向性を定めた「令和5年度施設整備方針及び令和6年度施設整備概算要求方針」について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。
・イノベーション・コモンズについて、グラウンドや体育館などの体育施設をどのようにイノベーションにつなげていくかという構想が大切である。
・箱物をつくったが上手くいかないという事例がたくさんある。工事費や維持費に対して、どれくらいのリターンを見込んでいるかなど、事業計画を明確にすべきである。
・施設を地域に貸し出すということだが、学生・教職員の研究及び教育に資するような利用についてもっと力を入れてはどうか。
・自然災害が多発している状況である。避難所機能について、場所を貸すだけなのか運営も担うのかなど詳細の検討を進めてほしい。

- 4 【報告】令和4年度補正予算及び令和5年度政府予算案における山形大学の状況について
財務部長及び瀨瀬理事から、議題に関して、報告があった。

本件に関して、主な意見は次のとおり。
・「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の配分指標のなかで、山形大学が力を入れて改善で

きる項目は何か。その分析とともに戦略を出していくべきである。

- ・「運営費交付金等コスト当たり TOP10%論文数」の指標については対象大学には入っていないが、山形大学として目標設定に入れて頑張るべき項目である。
- ・well-being 研究所について、要求の半分以下しか予算がつかなかった。ついた予算で出来ることをやるという姿勢ではなく、企画した事業の予算は何としてでも取ってくるという気概が欲しい。

- 5 【報告】国家公務員の定年引上げ等に係る対応について
羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・教員系の定年延長の経験があればシミュレーションも具体的に想定できるのではないかと。
- ・給与7割支給になるならば、そのことに対する合理的な説明が経営陣からなされるべきである。
- ・定年延長をした際の退職金を払う時期についても検討が必要である。退職金の支給時期が変わることで人生設計に影響する人もいる。
- ・定年延長だけでなく、年齢で区切っていたものを無くしていくという思想で、若手の選抜についても進めていくのが良いのではないかと。
- ・画一的な基準では、余人をもって代えがたい優秀な人材も退職して出て行ってしまふ。そういった人たちに残ってもらえるような制度も検討してはどうか。

- 6 【報告】国立大学法人山形大学におけるテレワークに関する規程の制定について
羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

- 7 【報告】山形大学研究戦略2030 (YU Research2030) について
飯塚理事から、議題に関して、報告があった。

次回は、令和5年3月15日(水)に開催することとなった。